

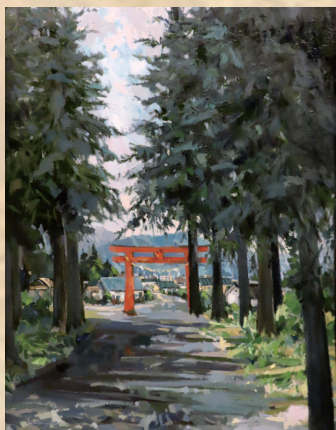
市立

小諸高原美術館・ 白鳥映雪館



第39回 小山敬三記念小諸公募展

入賞・入選作品展



第38回 小山敬三記念大賞

「木立より見入る浅間」

小田澤 和宏

展示期間 10/12(日)～11/23(日)

小諸市出身の洋画壇の巨匠・小山敬三画伯の功績を永く後世に伝えることを目的に、全国から浅間山、千曲川、小諸の風景等を描いた作品を公募する「小山敬三記念小諸公募展」。本年度は、第39回を数え、『入賞・入選作品展』には、審査によって選ばれた油彩画、水彩画、日本画などの力作百数十点が並びます。様々な視点で描かれた郷土の風景画の力作をお楽しみください。

▶主な賞

小山敬三記念大賞、長野県知事賞

小諸市長賞、小諸市教育長賞 など

▶入館料 一般 500 円 / 小中学生 250 円

▶表彰式 11/3(祝・月) 14:00～

▶展示期間中の休館日

10/14(火)、20(月)、27(月)、11/4(火)、10(月)、17(月)

◆10/12(日)のイベント情報

① オープニングテープカット 10:00～

② 今井美樹 二胡コンサート(無料) 11:00～

☎ 市立小諸高原美術館・白鳥映雪館 ☎ 26-2070

昆虫写真家

海野和男の小諸日記

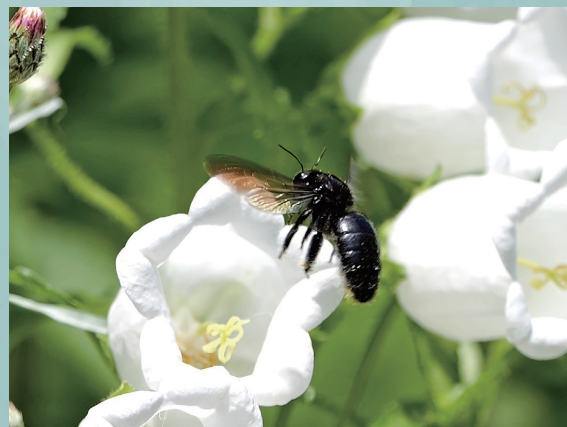
タイワンタケクマバチ



日本のクマバチはキムネクマバチとも呼ばれ、胸に黄色の毛が生えているが、タイワンタケクマバチは全身真っ黒だ。クマバチが丸っこい形をしているのに対し、タイワンタケクマバチはやや細身だ。

クマバチは木に穴をあけ、中で家族で暮らすが、タイワンタケクマバチは枯れた竹筒^{たけぼうき}を利用する。枯れた竹筒^{たけぼうき}といえば竹箒^{たけぼうし}の柄などにも巣を作ることがあるのだそうだ。

タイワンタケクマバチは外来種で、恐らく輸入された竹箒^{たけぼうし}などについて日本にきたのだろう。2006年から関西などで記録があり、今では長野県まで分布を拡げている。初めて庭に現れたのは4年ほど前で、隣の敷地に小さな竹林があるので、そこで発生したのだろう。関西から長野県で見られ、現在は多分小諸がタイワンタケクマバチの北限だろう。オスには針がないが、メスはつかめば刺すこともある。けれど、攻撃的なハチではないので、恐れる必要はない。



緑の丘にふれあいの鐘が鳴る
やまびこ園

障害者グループホーム
障害者支援施設
軽費老人ホーム
デイサービスセンター
認知症対応型グループホーム

社会福祉法人 **小諸青葉福祉会** 小諸市大字柏木1328 ☎ 0267-23-9515

AOBA

ご用命お待ちしております。

小諸観光タクシー
☎ 0267-22-2424
佐久小諸観光タクシー
☎ 0267-65-8181

JR指定券乗車券の発券業務も行っております

お電話一本で手配します。
お気軽にどうぞ。
小諸観光旅行センター
☎ 0267-22-6161

SAKU KOMORO TOURIST

〈広告欄〉